野外彫刻ながのミュージアムガイドマップ

編集・発行
長野市文化芸術課
〒380-8512　長野市大字鶴賀緑町 1613 番地
TEL:026-224-7504　FAX:026-224-7351
https://www.city.nagano.nagano.jp/menu/5/1/2/
R8.2 発行

◆野外彫刻のまち「ながの」

あなたも街角や公園で野外彫刻に出会ったことがあるのではないでしょうか。
長野市は、昭和48年に“うるおいのあるまちづくり”を目指して「長野市野外彫刻賞」を創設し、
日本を代表する現代彫刻家の作品を設置してきました。その数は149点にのぼります。
このガイドマップは、そんな芸術作品に出会い、身近に親しみ、楽しんでいただくための一冊です。
また、旧合併町村が設置した彫刻12点を紹介します。野外彫刻賞作品と併せてご覧ください。

◆野外彫刻鑑賞のポイント

・観る角度をいろいろと変えて鑑賞してみましょう。同じ彫刻でも違った印象を受けます。
・観る季節や時間を変えて何度も鑑賞してみましょう。違った表情がみえてきます。
・作品にふれてみましょう。野外彫刻は触って楽しむことができるアートです。

**ガイドマップで紹介している鑑賞ポイントや解説は、あくまでもひとつの観かたです。
この解説に頼らず、自分の感性で鑑賞したり、いろいろな方法で野外彫刻を楽しんでみてください!**

※背景が着色されているものは、文化勲章受章者と文化功労者の作品です。

城山公園

43 オルメカの微笑　高橋 清／作　城山公園(噴水広場西入口)
体をイメージした黒御影石の上に口を大きく開けた顔を乗せてあります。巨石文化が発達したオルメカ文化のおおらかさをゆとりの少ない日本人に取り戻してもらいたいという願いが込められています。
【昭和58年設置・石】

51 ピクニック　渡辺 豊重／作　ながのこども館(ながノビ!)
中心の白と外側の緑は人間と自然との関わり合いを表現しており、内側の赤は濁りのない心を示しています。明るい心で限りない自然の空間と関わって、平和なる生活を楽しもうと呼びかけているようです。
【昭和60年設置・鉄板】

135 オウシ・ゾウケイ2007　牛尾 啓三／作　城山公園(ふれあい広場)
つながれているように見える2つの輪は、1つのドーナツ状の石を「メビウスの輪」の原理を用い分割したもので、均等に刻まれた柱状の模様はグラデーションがあり美しく印象に残ります。
【平成19年設置・石】

136 ANIMAL2008 三沢 厚彦／作　城山公園(ふれあい広場東)
木彫をブロンズで鋳ぬいた作品で、ノミの彫り跡が見事に再現されています。ボリュームのあるたてがみや愛らしい顔の表現など緊張と緩和が融合されており、見る角度により様々な表現が見られます。
【平成19年設置・ブロンズ】

1 作品1972　土谷 武／作　城山公園(長野県立美術館東)
大きく長方形に切った茨城県産の白御影石を少しずらして2枚ずつ左右に並べ、中心には一枚の小ぶりの石の上に鉄板20枚を重ねてあります。シンプルですが重量感のある近代感覚にあふれた作品です。
【昭和48年設置・石・鉄】

7 ある小さな祠のために　保田 春彦／作　城山公園(長野県立美術館東)
正方形に磨いた白御影石の前方の下部に立方体の穴を開け、そこへステンレスで階段を作って中へ導入しています。穴の奥にはお宮の祠らしいものがあり、現在の団地の氏神様というイメージを感じます。
【昭和49年設置・石・ステンレス】

11 咬み合う立方体　堀内 正和／作　城山公園(長野県立美術館東)
ステンレスを組み立ててあり、凹角は全部同じ角度で、幾何学の1つの法則にある角度となっていますがこの角度は偶然に作られたものです。展開すると正方形を4つ並べて3段にし、1つずつ左にずらせた平面になります。
【昭和50年設置・ステンレス】

14 笛吹き少年　舟越 保武(1999文化功労者)／作　城山公園(動物園)
群像「長崎の二十六聖人像」を作った作者は、人の内にある汚れなき精神を表現する作品を作り続けています。少年の汚れを知らない伸び伸びとした姿態は美しい笛の音が自然と流れてくるようです。
【昭和51年設置・ブロンズ】

15 アニマル　向井 良吉／作　城山公園(長野県立美術館東)
日本が経済成長してエコノミックアニマルといわれた次代を風刺した作品です。大型電気製品を梱包する発泡スチロールをそのまま鋳型としてアルミニウムで鋳造し、一部平面を旋盤で磨いたものです。
【昭和51年設置・アルミニウム】

16 あるポーズ　桜井 祐一／作　城山公園(噴水東)
つま先に重心を乗せて腰を落とし、左手で体を支えるポーズ、せいぜい15秒ほどしか保てないこの姿勢の緊張感が、体全体にみなぎって若い姿態に限りない曲線の美を生んでおり、清々しい作品です。
【昭和52年設置・ブロンズ】

19 追憶　山本 正道／作　城山公民館
ローマの公園での風景を、帰朝してから思い起こして作ったメルヘンのある作品です。やや抽象化してある森や、芝生にいるロバに腰掛ける少女や右側の鳩からのどかな雰囲気が伝わってきます。
【昭和52年設置・ブロンズ】

21 半円柱 II　豊福 知徳／作　城山公園(噴水東)
2つに割った丸太の真中をえぐり、中心に不等形の穴を8つ開けてあります。最初はえぐった所は金色に塗りましたが、風雨にさらされてくすんできました。裏から見ると、中心の穴の形がユニークです。
【昭和53年設置・ブロンズ】

25 憩う　朝倉 響子／作　城山公園(ふれあい広場東)
忙しい青年歌手が少しの休養時間にテラスで休憩する姿で、膝立てた足を台座の外へ半分出しているのはリラックスしている心の状態をイメージしたものです。モデルは布施明で当初は「F氏像」でした。
【昭和54年設置・ブロンズ】

31 遥かなリズム　新宮 晋／作　城山公園(ふれあい広場東)
作者は、風や水を利用して動く彫刻を手がけています。鉄の円柱の上に2枚の竹トンボのような板をつけた心棒を取り付けてあり、わずかな風で回りいろいろな造形を作り出します。
【昭和55年設置・鉄】

34 若い女　岩野 勇三／作　城山公園(長野県立美術館西)
作家は女体の持つ不思議な力に心を引かれて裸体を作り続けています。若い女体の輝きが良く表現されており、手を上げたポーズによって筋肉や肌に緊張が出てきます。
【昭和56年設置・ブロンズ】

38 転生　菊池 一雄／作　城山公園(長野県立美術館東)
病気が回復した作者は、心機一転新しい気力を持って制作活動に取り組もうとする心情を像に託しました。やや大きめに、あまり磨かず飾り気のない清新さ、内部に秘めた意志の強さがそこはかとなく感じとれます。
【昭和57年設置・ブロンズ】

周辺拡大MAP

野外彫刻を もっと知りたい方は!

■『野外彫刻めぐり』にご参加ください
講師の解説つきで野外彫刻を鑑賞します。
広報ながのや市ホームページで日程や行程をお知らせします。

■『ピコッとリンク』をお試しください
野外彫刻のわきに設置してある二次元コードを読み取ると、その彫刻の素材や説明が読める市ホームページにつながります。

■野外彫刻の場所を探すなら
市ホームページ内「長野市行政地図情報」からもご確認いただけます。

スマートフォンを
お持ちの方はこちら。

市内各所の公園(マップは内側)

茶臼山動植物園

29 風よ　井上 玲子／作　茶臼山自然植物園
ものの形に捉われず、心のうちにひびくものを形にするこの作家は、流動的でリズミカルな抽象作品を創っています。大自然の中で生き生きと息づき、見る人に自由な思いを抱かせる作品です。
【昭和55年設置・アルミニウム・石】

45 柱にもたれてアルトを吹けば…　黒川 晃彦／作　茶臼山動物園(ピクニック広場)
題名の・・・は、いろいろに想像してほしいという作者の思いです。柱と人体の「く」の字の幾何学的造形がバックの緑に調和します。黒塗りは作品のアラが発見されるそうで、自らに厳しくするためだそうです。
【昭和58年設置・ブロンズ】

47 紙の塔　山縣 壽夫／作　茶臼山動物園
もとは紙で作ったものをアルミニウムの薄板とし、石膏の型を作ってブロンズ化しました。やわらかな紙がある時突然金属に置き換えられることによって長い命を持つようになる、という発想の転換です。
【昭和59年設置・ブロンズ】

川中島古戦場史跡公園

37 若きカフカス人　中原 悌二郎／作　川中島古戦場史跡公園(博物館前)
大正8年、若いコーカサス人をモデルに制作した首です。芥川龍之介はこの像に感動し「誰かこの中原悌二郎氏のブロンズの若者にほれるものはないか。この若者は未だに生きているぞ。」と記しました。
【昭和56年設置・ブロンズ】

39 CLOUD 17(暈)　建畠 覚造(2005文化功労者)／作　川中島古戦場史跡公園(博物館南)
薄雲の中に暈をかぶった太陽をイメージしてパラボラアンテナのような作品を作りました。地上から雲が沸き立つように見え、上部の17段の円形は次第に小さく重なり雲の中に太陽を配しています。
【昭和57年設置・アルミニウム】

42 演技者　吉田 芳夫／作　川中島古戦場史跡公園(博物館前庭)
芝居をしている男性像です。市立博物館やその後方に見える飯綱山を背景にエキゾチックな衣装をまとった毅然とした姿が印象的です。台座は御影石でやや右にずらして像を置き、動きを表しています。
【昭和58年設置・ブロンズ】

東和田　長野運動公園

23 円盤投げ　ミュロン／作　長野運動公園(陸上競技場西)
2000年程前にギリシャで作られた有名な作品のコピーで、長野国体のモニュメントとして設置された特別作品です。ギリシャのオリンピック競技で円盤を投げる逞しい青年像です。
【昭和53年設置・ブロンズ】

32 腰かける　柳原 義達(1996文化功労者)／作　長野運動公園(芝生広場)
作者は内面にある本質を表現することに工夫しています。驚きや喜びなどを髪形、目などをデフォルメして表し、さらに意志の強さや緊張感を出すのに背中の一部をえぐりとってあります。
【昭和55年設置・ブロンズ】

36 花　千野 茂／作　長野運動公園
大胆なポーズではなく、乙女に花を持たせて清楚な落ち着きを持った作品です。静かな中に生命の輝きを感じます。木彫から出発した作者は藤原時代の仏像に心を引かれ、東洋的な美を追求しています。
【昭和56年設置・ブロンズ】

松代・真田公園

17 少女　佐藤 忠良／作　真田公園
文化勲章受章の大彫刻家、朝倉文夫の孫娘が廊下でスキップをしながら毬をついていた一瞬のあどけない姿をとらえた作品です。動きがあり可愛らしく、子どもたちが来て、一緒に遊んでいるようです。
【昭和52年設置・ブロンズ】

28 屈む女　安田 周三郎／作　真田公園
若い女性のやや大きくデフォルメされた裸像です。屈むことにより、筋肉の張り、線の滑らかな美しさが表現され、豊かな髪の毛を肩から前に垂らしたモダンなポーズです。健康美のあふれた清楚な作品です。
【昭和54年設置・ブロンズ】

74 歴史の彼方へ　竹内 不忘／作　松代支所前
背を向け合った清純な姿態の乙女が手に貝を持っています。古代は貨幣や食器として使い、王朝時代から貝遊びもあったように、人間世界と長い歴史的関わりを持つ貝によって歴史の彼方を表しています。
【平成元年設置・ブロンズ】

92 トキメキ フレアイナガノ ユメ　最上 壽之／作　上信越自動車道長野インター
長野ICの完成を記念して、地域づくり推進事業により設置されました。ステンレスの円筒を組み合わせ、長野市が限りなく伸びることを願って、横に枝を張りながら上へ伸びていく姿を表しています。
【平成4年設置・ステンレス】

南長野運動公園

24 ローマの公園　淀井 敏夫(2001文化勲章受章者)／作　南長野運動公園
作者は、対象物を極限まで細かくして本質を表現する技法で制作しています。ローマの公園の昼下がり、上品な老婆と理知的な美しい娘の姿態は、左右から見るとふくよかな健康美に見え驚きさえ覚えます。
【昭和53年設置・ブロンズ】

94 風のフォルム・TWICE　河崎 良行／作　南長野運動公園
ステンレスの板を幾片も鍛造し、溶接して成形してあります。二紀展に出展した小ぶりな鉄板を拡大したもので、1つではダイナミックな動きが感じられないため、同じ形のものを2枚重ねてあります。
【平成5年設置・ステンレス】

111 太陽の贈りもの　新宮 晋／作　南長野運動公園
円筒の上に平板なヘルメット様の造型と半円形の板を取り付けて乗せてあります。近代的な競技施設の周囲との結び付きを強くする造形物をイメージし、鮮やかな色彩は陽光を反射しています。
【平成9年設置・ステンレス】

112 こだま'97　山本 正道／作　南長野運動公園
単純化された二本の樹と少女が暖かい雰囲気を醸し出しています。根を下ろす樹のそばに腰を下ろして耳をすますと、過去から現在へ響き合う“こだま”に似た数々の思いがわいてくるようです。
【平成9年設置・ブロンズ】

119 岩を動かした風　門脇 おさむ／作　南長野運動公園
白花崗岩の上端で石の風車が回ります。悩みや苦しみを吹き流してくれるようなさわやかな風を、見る人の胸に吹き込んでくれる作品です。試行錯誤を繰り返しながら5年余を掛けて完成したフォルムです。
【平成12年設置・石】

120 連　澤田 美保／作　南長野運動公園
外国の広々とした風景のイメージを土台として、水にたわむれる人体が山や空と重なるのびのびした風景を、コールテン鋼という素材を特殊な技法で造形して表現しました。ツツジなどの植栽は船をイメージしています。
【平成12年設置・コールテン鋼】

122 うつろひ　宮脇 愛子／作　南長野運動公園
池の上のワイヤーが風にゆれ、日に照らされて輝き、水面にゆらぎ映るまわりの空気も取り込みます。金属の弧線は自然と見事に調和して季節の移り変わりの中でいろいろな表情をみせてくれます。
【平成13年設置・ステンレス・スティール】

123 UNTITLED 02-A　前田 哲明／作　南長野運動公園
「雨水が木々を伝わり大地に吸い込まれ川に注ぎ海へと渡り太陽の力でまた雨にもどる自然の摂理を形にしたい」と作者。2,300本余のステンレス・パイプに光が当たり豊かな水の行方に輝きをみせています。
【平成13年設置・ステンレス・スティール、ステンレス・ワイヤー】

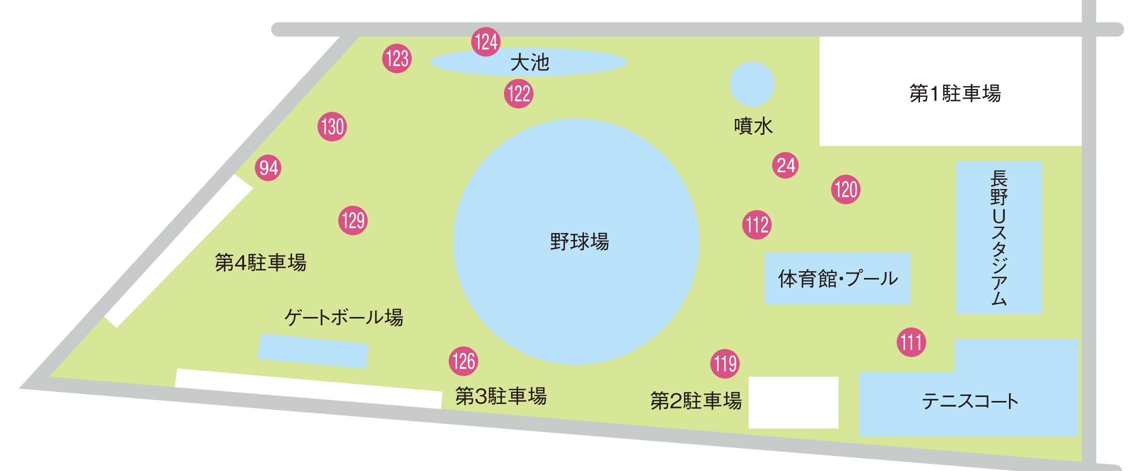
124 つなぎ石　作品-38　山根 耕／作　南長野運動公園
地下100m程の所で気が遠くなるような時間を過ごした石たちに「今、太陽の下、広い空間に心ゆくまで精一杯の演技をさせたい」と作者。白御影石が大地に影をおとし、安定感がひき立ちます。
【平成13年設置・石】

126 風を孕む　丸山 映／作　南長野運動公園
南アフリカ産の4トンの黒御影石を磨きの技を加えて柔らかなライトグレーに仕上げ、自然と人間とが調和するよう工夫されています。風を孕んで進む姿はまさしく長野市の限りない発展を願っています。
【平成14年設置・石】

129 時空・138－旅人－　石井 厚生／作　南長野運動公園
1450余個の赤レンガを積み重ねています。河原や海辺で見かける滑らかな小石からこの形が生まれた、永い年月の贈り物です。表面が三角形・正方形などの形で構成され、美しい装飾模様になっています。
【平成15年設置・煉瓦】

130 稲妻<LAMPO>　長澤 英俊／作　南長野運動公園
空中電気が放電した火花の様子です。稲光は天空から大音響と共にジグザグに地上へ落ちたり、逆に大地から天へ一瞬の電光と共に駆け登るようにも見えます。莫大なエネルギーが公園に広がります。
【平成15年設置・鉄】

周辺拡大MAP



季節の香りや風を感じながら心地よく歩くと、「こころ」と「身体」の健康に効果があります。芸術散策とともに、健康づくりに取り組んでみませんか。

長野駅～長野大通りエリア

周辺拡大MAP

3 道標　柳原 義達(1996文化功労者)／作　南千歳町公園
孔雀鳩が一休みしている像で、目標を定めて飛び立ち、着くとまた新しく目標を定めて飛んでいくという鳩の性質が題名の由来です。この頃手がけた「道標」シリーズの中でも比較的大きな作品です。
【昭和48年設置・ブロンズ】

8 まわる曲線のリング　伊藤 隆道／作　長野市芸術館南側
ステンレスの管を斜めに立て、その先に波打つように曲げたリングを接着してあります。回りながらいろいろな造形を作り出し、変わっていく空間の穏やかな広がりが楽しめます。
【昭和50年設置・ステンレス】

49 ランラランチンチンオトコノコ　最上 壽之／作　長野大通り
コールテンの鋼を素材とした台座の上にカポールの寄せ木をブロンズ化して乗せてあります。霜柱が土を突き上げるような勢いを表現したもので、その勢いが男の子にあることからこの題名が付けられました。
【昭和59年設置・ブロンズ】

50 小話　高田 大／作　長野大通り
アフリカ産のアレグロブラックという石の彫刻で、石の冷たさが逆に人間のそこはかとない温かさを表すという、内面の実態を表現しています。道を歩く人にさりげなく話しかける姿は安らぎを与えてくれます。
【昭和59年設置・石】

60 明日へ　峯田 義郎／作　長野市役所第二庁舎前
市制90周年のモニュメントで、若い男女が腕を広げた姿は長野市の躍進を象徴し、鳩は平和を表しています。箱形の造形は力感あふれ、男女と鳩は限りない長野市の発展を暗示しているようです。
【昭和62年設置・ブロンズ】

65 雲のロンド －マチス讃歌－　中垣 克久／作　長野市役所第一庁舎前
市制90周年のモニュメントで、5人の乙女が楽しく円舞曲を踊って市の繁栄を祈っています。5人としたのは長野冬季五輪の招致活動が行われていた時で、その感動を願って決められました。
【昭和62年設置・ブロンズ】

84 セレナード　中岡 慎太郎／作　ターミナル南通り
荒く磨いた白味がかった黒い石の下に薄い平石を重ねて太い足のようにしてあり、古代から歩いてきた人間をイメージしています。日本文化の奥ゆかしい中に素朴なセレナードが流れるのが感じられます。
【平成3年設置・石】

116 金属と樹液の距離　津久井 利彰／作　れすぽ ちとせ(南千歳)
生命力を満たした植物をイメージさせた作品です。金属の束が発するエネルギーと植物のエネルギーの距離が変わりながら生き続け、周囲の植栽が成長するに従い金属の樹も姿を変えていきます。
【平成11年設置・ステンレスパイプ】

125 気流　西野 康造／作　長野駅東口
風力で動くパイプ状の珍しい作品です。大気の流れを敏感に察知し、広い空間に快いリズム感で自然のフォルムを描きます。鳥のはばたきや木の枝にも見え、見る人によって感じ方がいろいろ違ってきます。
【平成14年設置・チタン】

137 時間塊7　原 透／作　上千歳広場
題名は、石の膨大な時間を蓄積しているということから付けられました。曲がって歪みのある形は、「時間のもつエネルギーを視覚化」し、表現しています。
【平成20年設置・石】

140 工事現場　村中 保彦／作　長野大通り
3体で一組の作品です。有機的な動物と無機的な足場、異なるふたつのフォルムを組み合わせることで、自然の形と人の造形の調和について改めて意識するきっかけになれば、という作者の思いが込められています。
【平成23年設置・ステンレス】

141 希望　村中 保彦／作　長野大通り
長野ライオンズクラブ結成50周年記念事業として寄贈を受けた作品です。東日本大震災・長野県北部地震からの復興の祈りと、社会の平和、人々の心の安らぎへの思いを込めて制作されました。
【平成23年設置・ステンレス】

142 長野の月　西川 勝人／作　長野大通り
作者は長野で出会った御玉石のことを想い、市内を歩き回って、浮かんできたのがこの作品です。日本中いたるところにある風景の中にある「長野の月」をご覧ください。
【平成24年設置・石】

143 存在―関係　丸山 雅秋／作　長野大通り
「私が存在するには、私が存在する場所が必要で、場がなければ私は存在しえない」他者とどのように生きるかをテーマとして、2つの立方体「自と他」から構成された作品です。
【平成24年設置・ブロンズ】

144 月に向って進め　井田 勝己／作　長野大通り
計測できない時間をどうやって彫刻で表すかを考えて制作されました。船の形やその上の遺跡風の風景は、すべて人間が介在しないと意味のないものであり、人間と時間についての思いを形にした作品です。
【平成24年設置・石】

145 木霊　田村 史郎／作　長野大通り
母親の大きなスカートを頭から被りふざけている孫娘をモデルに、スカートのヒダとその織りなす空間の妙を表現した作品です。
【平成25年設置・ブロンズ】

146 大きいズボン・冬　田村 史郎／作　南千歳町公園
南千歳町区町制100周年記念事業として寄贈されました。(No.145)木霊(こだま)のモデルとなった女児の母親(作家の三女)がモデルになっています。
【平成25年設置・ブロンズ】

147 蒼い山　北郷 悟／作　長野大通り
雨と山々から生まれる「湖」「川」の「水の循環」を表現しています。信州の山々とのかかわりが人間の心に豊かさを育むことの素晴らしさを感じさせます。
【平成25年設置・ブロンズ】

149 時・空・音　金 景暋／作　長野大通り
水は形はありませんが、不思議な表情を持っています。始まりも終わりもない水の存在感をステンレススティールで表現しています。
【平成26年設置・ステンレス】

中心市街地周辺エリア(マップは内側)

10 二歳　佐藤 忠良／作　柳町公園
裸で可愛い帽子をかぶせたあどけない幼児の像です。黒光りする特殊塗料を塗ってあり、清楚な姿は皆に愛されています。ブロンズの地金が出て美しさが増しています。
【昭和50年設置・ブロンズ】

12 津舞　一色 邦彦／作　守田公園
大漁旗を立てて帰港してきた漁師に小屋へ案内され、大漁祝いの席で漁師の娘が踊った姿を造形したものです。全身像を作りましたが、興が薄れるので半身像にしました。
【昭和51年設置・ブロンズ】

91 デュエット　鹿田 淳史／作　往生地公園
男女や直線・曲線のように正反対のものの存在がうまく調和をとって成り立つことを表しています。板を鍛造して直線と曲線を美しくからみ合わせて、真鍮の金色の輝きが広い空間に鮮やかです。
【平成4年設置・真鍮】

108 地殻―120個・NAGANO　岡本 敦生／作　長野県自治会館
くり抜いた石に内側から穴を開け、長野県百二十市町村から一個ずつ集めた石に市町村名を銘記してはめ込み、上から蓋をしました。「この作品から長野県全土を感じてもらえれば」と作者は望んでいます。
【平成8年設置・石】

中央通り～県庁前通りエリア

5 水浴　高田 博厚／作　ひまわり公園
行水をして立ち上がりやや斜め上を見ている女性の美しい瞳の動きと健康美、そしてポーズが自然体です。ふくらはぎの下から足がないのは、水の中にあることを示しています。
【昭和49年設置・ブロンズ】

52 瑞象　橋本 正司／作　市立長野図書館
斜めや直角に切った角柱体を巧みに組み合わせて造形しています。これは三角形のものを組み合わせ、木が枝を張り上へと伸びていく状態を表現しており、方向によっていろいろな形態を見せてくれます。
【昭和60年設置・ブロンズ】

59 波と貝から与えられたフォルム　高橋 清／作　信濃毎日新聞社前
石の持つ形状から湧いたイメージを巧みに生かした作品です。縞のある大理石を切り側面を磨いて出た模様が波に見え、波に洗われ美しい形となった貝を白い大理石で表現して上に乗せてあります。
【昭和61年設置・石】

61 若い女　高野 佳昌／作　県庁前広場
女性の若さには活発さや逞しさ、はじけるような若さなどがありますが、これは清楚な若さを表した女性像です。県庁に出入りする人たちにつつましやかに挨拶を投げかけているようで安らぎを覚えます。
【昭和62年設置・ブロンズ】

70 春　日高 頼子／作　JA長野県ビル　アクティーホール
ふくらんでいる所に空間的な量感を持たせたり、筋肉のかたまりを結合するなど、非常に力がこもっている若い女性の裸体です。花が芽ぐみふきのとうなどが土を押し上げる春の気を感じさせる作品です。
【昭和63年設置・ブロンズ】

87 風　広井 力／作　長野県労働金庫
御影石の中心に菱形の空間、下方に長方形の空間を彫って近代的象徴文字の「風」をイメージしたモダンな造形です。このシャレた空間に行き来している風はそれぞれの季節の色を持ち、風情を感じます。
【平成3年設置・石】

134 A・UN　速水 史朗／作　TOiGO広場
5作品で構成される組彫刻です。善光寺の山門に凛々しく建つ仁王像の阿吽像をモチーフにした作品で、波形の美しく磨かれた黒御影石は信州の山並みあるいは千曲川・犀川の流れにも見えます。
【平成17・18年設置・石】

権堂エリア

35 ウインドダンサー　関 正司／作　長野大通り
厚さ3ミリのアルミニウムの板を叩いて作ったスカートは風で回ります。頭部はステンレスの針金を7本より合わせた直径0.24ミリのワイヤーを、約1万本の毛として植えてあります。
【昭和56年設置・アルミニウム・ステンレス】

56 しなのの木　空 充秋／作　長野大通り
同じような形に刻んだ石を少しずつずらしながら積み上げてあります。木が枝を張りながら上へと伸びていく姿を表現している重厚で明るい作品で、方向によって異なった美しさを見せてくれます。
【昭和61年設置・石】

97 タクト　圓鍔 勝三(1988文化勲章受章者)／作　勤労者女性会館しなのき
松尾葉子さんが指揮をしているタクトに光があたりタクトの動きにつれて美しく動く光線に感動して具象作品となりました。タクトの先が曲がっているのは動きを表しています。
【平成6年設置・ブロンズ】

148 陽風No.3　大成 浩／作　権堂イーストプラザ
「悠久の時を越え、宇宙や時間を溶かしながら流れ続ける風が、太陽の中で輝いている」というコンセプトでつくられた作品です。
【平成26年設置・石】

周辺拡大MAP

長野市霊園エリア

周辺拡大MAP

2 托鉢　矢崎 虎夫／作　霊園(道路)
木彫をブロンズ化した作品で、細長く置いた台座は道を表しています。修行僧が一心に托鉢している姿で、苦労を重ねて修行している内面的な厳しさが木彫の荒々しいノミの跡でよく表現されています。
【昭和48年設置・ブロンズ】

4 母と子　加藤 昭男／作　霊園
逞しい生活力と愛情の深さを湛えた母親をデフォルメして表現しています。母親の腕の中に安心しきって眠る子どものふくよかな愛らしさ、レンガを敷きつめた広い台座は座敷をイメージしています。
【昭和49年設置・ブロンズ】

9 風景の領域　小田 襄／作　霊園
ステンレスの大きな円筒を2つに割り、真中に風の通る空間を作り直立させて周囲を鏡のように磨き、外の風景が映るようにしてあります。凸面のため映像は細長くなり、幻想的な世界を現出します。
【昭和50年設置・ステンレス】

13 時の流れ　木村 賢太郎／作　霊園(道路)
抽象作品で、白御影石を造形し、丹念に磨き上げてあります。台座の白い大理石が清楚さを助長しています。全体を顔と見てもよく、あるいは半身像とも感じることもできます。
【昭和51年設置・石】

18 夜の詩　山本 常一／作　霊園(道路)
動物を手がけると名手といわれる作者による、夜を司る鳥といわれるフクロウ(ミミズク)で、コンクリートの木をイメージした枝の上にツブラな眼を開いてとまっています。
【昭和52年設置・ブロンズ】

20 マスク　清水 九兵衛／作　霊園(道路)
アルミニウムの板を三角に組んで、その前に曲線をつけた板をドッキングしてあり、直線と曲線をどのようにマッチさせるかを試みた作品のシリーズで最も大きなものです。
【昭和53年設置・アルミニウム】

26 やまびこ　澄川 喜一(2020文化勲章受章者)／作　霊園(道路)
木彫をステンレスとアルミニウムで作り替えた作品で、鳥のくちばしをイメージした上のアルミニウムから前方の細長い柱に向かって声を反響させようとしています。銀色が緑の中に映える作品です。
【昭和54年設置・アルミステンレス・石】

30 漂流と原形　江口 週／作　霊園(道路)
木彫をブロンズ化した作品です。長野平が一眺できる環境を見て、小さく少し形が異なった入賞作品をすっきりとした大きな形に直しました。金色に塗り、所々に漆を刷いてアクセントをつけています。
【昭和55年設置・ブロンズ】

48 丸三角四角　岩城 信嘉／作　霊園(さくら苑)
やわらかい感触の佐久石の上から丸・三角・四角の中に素朴でふくよかな像を彫り込んであります。私たちが祖先から子孫へと永遠に命をつないでいくことを表現しています。
【昭和59年設置・石】

湯谷団地(マップは内側)

115 皐月夜　手塚 登久夫／作　湯谷団地遊園地
地附山の地すべりを永遠に鎮魂し地域の平和を守ってくれるであろう親子の梟の力強い姿には感動を覚えます。スウェーデン産のインペリアルレッド石の上にアフリカ産の黒御影石を荒く彫刻してあります。
【平成10年設置・石】

芹田

6 雪の肌　流 政之／作　ビッグハット
大理石の抽象作品で六角形の粒子をもった白く輝く雪の微小に変化する状態を形象化した作品です。下部が細いため倒れないように黒御影石をバックにおいてあります。当初は城山公園にありました。
【昭和49年設置・石】

22 花持つ少女　舟越 保武(1999文化功労者)／作　長野信用金庫本店前広場
純真な心を持った少女にバラの花を持たせています。ワンピース姿のスラリとした姿態がバックの建物の窓ガラスにはめ込まれたように設置され、茶色のレンガの壁がちょうど額縁の効果を表しています。
【昭和53年設置・ブロンズ】

63 STONE WORK－双　湯村 光／作　若里公園
ずれたり割れたりする石の自然現象を働きと見てこの作品が作られました。二つの石が重なっているように見えますが非常に大きな一つの黒御影石です。台座は白御影石でアクセントをつけています。
【昭和62年設置・石】

64 門　速水 史朗／作　丹波島橋北側
犀川の渡し場を越えて善光寺に参拝する旅人が通った江戸時代の北国街道です。大きな三枚の御影石を刻んで組み合わせてあり「この門をくぐってください」と前後に自然の飛び石を配してあります。
【昭和62年設置・石】

101 地象　齊藤 顯治／作　市道芹田小伊勢宮線
大地の力に限りない興味を抱いている作者が大地を点で支えることができないかと考えて制作しているシリーズの一つです。自分が大地に支えられているという思いが見る人に伝えられればとの願いです。
【平成7年設置・石】

113 女の子　笹戸 千津子／作　母袋地区東通りポケットパーク
モデルの持つ内面的な美しさや逞しさの表現を追求している作者が、女性の感性を土台として将来への可能性をこの像に託しています。子どもの素直で清楚な美しさが、何気ないポーズに溢れています。
【平成10年設置・ブロンズ】

118 風船を持つ少女　高嶋 文彦／作　長野市保健所
アフリカ産黒御影石に窓をくり抜き、腰掛けた少女の像を彫り、上の窓枠には風船があります。限りない可能性を秘めた少女と夢を感じさせる風船の組み合わせは新しい時代への夢と希望がこめられています。
【平成11年設置・石】

138 対話 COLLOQUIO　吾妻 兼治郎／作　栗田北中
親子のカエルが向き合う姿を様式化し、対話することの大切さを表した作品です。騒音や騒動を一時忘れ、静寂の中に身を置いて欲しいという作者の思いが込められています。
【平成21年設置・ブロンズ】

三輪・吉田

44 蝶幻想　城田 孝一郎／作　長野大通り
木曽産のアララギ(イチイ)の大木から刻み出した木彫をブロンズ化したもので、台座はスウェーデン産のアズキ御影石です。着物を着て手を広げている人ですが、蝶が舞っているようにも見えます。
【昭和58年設置・ブロンズ】

71 北の母子　二口 金一／作　辰巳公園
母親の逞しい生活力あふれた内面が、デフォルメされた大きな体と顔に表現されています。寒さに負けないような凛々しい男の子と、手袋をはめた女の子のあどけなさが表れています。
【平成元年設置・ブロンズ】

80 翼のある塔　戸谷 成雄／作　美和公園
重力で押し潰れようとする塊を手でこね上げながら伸ばして、次第に山形に成形した、一般の塑像と全く異なった作法によるものです。その過程に鳥の翼のようなものや穴ができています。
【平成2年設置・ブロンズ】

88 憩う時　綿引 道郎／作　市営宇木団地
全天候に耐える強い鉱物のコールテン鋼の板を薄く鍛造(叩いて伸ばす)し、空間性を強調しています。スマートな二人が公園の一角に憩う姿は平和で愛情に満ち、その目は永遠の彼方を見ているようです。
【平成4年設置・コールテン鋼】

93 月を盗む　藤原 吉志子／作　北長野駅横断地下道南側広場
傲慢な地球人が自然を破壊し今度は月を盗むのではと風刺しながら、次代の子どもにクリーンな地球を作って欲しいという願いを込めた童話を表したものです。何点かのブロンズ作品を溶接してあります。
【平成5年設置・ブロンズ】

114 重力質－Floating Rain'98　曽我 孝司／作　長野電鉄信濃吉田駅前ロータリー
空間の中の目に見えない重力の働きに強く引かれ手掛けた作品で、円錐物の上にずらして円形の造形物を乗せ、日頃意識することのない重力を表現しました。円錐物は風によって左右に動きます。
【平成10年設置・ステンレス】

朝陽

83 羽化－飛翔　有賀 敬子／作　朝陽支所
アゲハ蝶がサナギから羽化を始めて、成虫になっていく過程の感動的な瞬間を擬人化しました。作者の子どもが理科研究で蝶の一生を研究した時に目にした生命の誕生の驚きと喜びを表現しています。
【平成3年設置・ブロンズ】

96 地表より－聖獣伝　井上 妻／作　千曲川リバーフロント
大地の中から自然の恵みを持って出現し、大地の守護神として自然をやさしく見つめる姿を象徴的に表現しており、大地の生命力を表しています。目はステンレスの球を鏡のように磨いてはめてあります。
【平成5年設置・石】

107 Velocity　多田 美波／作　エムウェーブ
高さ5mの円筒の上の弧が空に向かって伸びています。スピードスケートが好きで選手になったこともある作者が、スピードへの挑戦の楽しさと厳しさを表現した作品です。
【平成8年設置・ステンレス】

128 Casting－無題－　西 雅秋／作　南堀公園
不思議さを訴え、考えさせられる作品です。台座の上には人物像が置かれていたのでしょうか。戦争が姿を変えてしまいました。傍らの田舟に腰をおろして昔の思い出を語る場所にしてほしいという作者の願いです。
【平成15年設置・コンクリート】

古里

58 風景の外側　重村 三雄／作　古里公園
プラスチックを素材にして葉のない同じ形の木を植えてあります。生命のないプラスチックの木が生き生きとして見え、借り物でなく自然に感じさせる独特の風景をかもし出しているユニークな彫刻です。
【昭和61年設置・プラスチック】

78 明るい眸(まなざし)　桑原 巨守／作　三才駅前広場
万物を成育させてくれる太陽の恵みに感謝する思いをこの少女に託しています。太陽の恵みを体一杯に受け、空の一角に明るい目をあげて、両手を前に伸ばして握っている拳には強い意志を感じます。
【平成2年設置・ブロンズ】

100 "TAMAGETA" 1OOBAN　流 政之／作　長野市民病院
野外彫刻賞100点記念作品でアフリカ産の黒御影石を使っています。市民がお互いに将来を楽しく語り合ってほしいとの願いが込められ、男女が語り合うほのぼのとした明るい雰囲気が空間に広がります。
【平成6年設置・石】

長沼・柳原

68 E－の音 大きい太陽、小さい太陽　八ッ木 のぶ／作　柳原中央公園
上部の大きな方に小さな目、小さな方に大きな目があります。大きく開いている下の口は、ここから大きな声を出して前の人に呼びかけると答えてくれるという遊び心を持たせています。
【昭和63年設置・ポリエステル】

77 長野の門　黒川 晃彦／作　長沼赤沼
国道18号線を北から入る旧長野市の玄関口に設置したコンクリートの高さ6.6mの門に窓をつくり、少女が手を広げて歓迎しています。門の左右にベンチを配し、この小公園に一休みする人たちをもてなします。
【平成元年設置・ブロンズ】

86 風　番浦 有爾／作　中麻奈の里公園
強く吹く風に向かい、じっと耐えて飛び立つタイミングを計っている力強い鳥の像で、忍耐力や緊張感があります。ダチョウに似た大きな体の鳥が爪でがっしりと大地を押さえている姿は感動的です。
【平成3年設置・ブロンズ】

89 太陽の子　井上 なぎさ／作　長沼支所
銅板を鍛造しアルゴー電気溶接して成形した、らせん状に伸びる木の下に太陽の恵みを受けて空を仰いでいる少女がいます。中にステンレスのアングルを組み途中に穴を開けて重苦しさを軽減しています。
【平成4年設置・銅】

古牧

27 ハート・モビール　田中 信太郎／作　三重公園
コンクリートの台座の上に周密な計算によって作られた102個のリングを円錐状に積み上げ、極限まで細かくした最端のリングのわずかな凹みにステンレスのハート形の薄い板の作品を乗せてあります。
【昭和54年設置・ステンレス】
※ハート部分は危険防止のため、取り外してあります。

98 交差する形94－1　内田 晴之／作　和田公園
曲線と直線が交差し、赤と白のコントラストのシンプルでモダンな美を表現しています。一点だけで支える内側の直方体が動くのは内部4ヶ所に各8個の磁石があり、外側と引き合っているからです。
【平成6年設置・ステンレス】

117 月の庭－山の辺－　深井 隆／作　西尾張部尾張城跡公園
自然に恵まれた長野のイメージで荒く削った丸形の石は月です。周囲の御影石の上にブロンズの馬頭(白馬岳)、7本の棒(槍ヶ岳)、とんがり帽子(群馬県境の山)を置いて一大庭園を現出しました。
【平成11年設置・ブロンズ・銅棒・白みかげ石】

大豆島

55 こども　堀口 泰造／作　サンマリーンながの
子どもの本質を追及した作品です。やんちゃで天衣無縫な行動をするのが本来の姿ですが、この像を見ていると、健康的で意志の強い頼もしさが伝わってきます。黒い塗料が逞しさを助長しています。
【昭和61年設置・ブロンズ】

139 Gravitation　大井 秀規／作　大豆島公園
植物の発芽や、子馬が立ち上がろうとする瞬間に感じられる「生へのエネルギー」。作者はそれを重力(Gravitation)と相対する力としてとらえ、石を空に向かって積み上げることで表現しています。
【平成22年設置・石】

若穂

53 少年　瀬戸 剛／作　保科温泉前広場
作者は辰野町出身の昭和の代表的彫刻家、瀬戸団治の四男です。発達途中の少年の内に、無限の可能性を秘めた意志の強固さが漂い、これから世の中をしっかりと見つめて成長するであろう素直な心を感じます。
【昭和60年設置・ブロンズ】

73 耀風　大成 浩／作　若穂支所前
スウェーデン産のあずき御影石を三重の風の字形にし、中心に風が通る空間があります。深く彫った三本の溝はよく磨かれていて光を受けて輝き、それぞれの縁は磨いていないので明暗がくっきりします。
【平成元年設置・石】

104 花の舞い'96－II　橋本 裕臣／作　牛島輪中公園
各地の舞をスケッチするうちに制作意欲がわき作ってきました。テラコッタ技法(良質の粘土を焼いて作る塑像)で作った原型をブロンズ化して、紫がかった土色に塗り、間は舞の軌跡を表現しています。
【平成7年設置・ブロンズ】

豊野・大岡・信州新町・中条

合併により長野市に移管されたもので、長野市野外彫刻賞受賞作品ではありません。

A りんごのモニュメント　ゆたかの公園

B 大姥様像　虫倉山道しるべ

C 石のモニュメント　道の駅中条

D しあわせの鐘　中条しあわせの鐘遊園地

E めん羊の像　中嶋 大道／作　新町奈津女遊園地

F 「雉子も鳴かずば」の像　宮尾 応栄／作　新町奈津女遊園地

G 躍動　中嶋 大道／作　信州新町支所

H 母　宮尾 応栄／作　信州新町ふれあい公園

I 浜辺にて　宮尾 応栄／作　信州新町ふれあい公園

J 不動明王像　さぎり荘

K 鹿　さぎり荘

L やまなみ　峯田 義郎／作　大岡支所

小田切・芋井

54 家族　松本 雄治／作　飯綱高原(大座法師池　池畔)
強い生命力と深い愛情を内に秘めた、大きくデフォルメされた母親の後ろに、おおらかな姿で立つ父親、その肩にまたがり手を広げてはしゃぐ子どもの天真爛漫な姿に、心豊かな家族を表現してあります。
【昭和60年設置・ブロンズ】

67 音の世界へ(目をとじて)　武荒 信顕／作　青少年錬成センター
斜めに立てた箱形の上方の一角に円筒を二個結合して乗せてあります。風で動く円筒に周囲の風景が映って幻想的です。作品を眺めて目を閉じると風と共にさわやかな音が聞こえてくるように感じます。
【昭和63年設置・ステンレス・鋼板】

90 ボコッ!　寺田 武弘／作　アソビーバ　ナガノパーク
岡山産のマンナイ花崗岩(さくら御影石)です。ある日突然地中から現れた石が割れてはじけ、左右に飛び散った状態をイメージしたもので、中心の石の真中をくり抜き、3つに分けて置いてあります。
【平成4年設置・石】

安茂里

82 風の夢　鈴木 徹／作　安茂里総合市民センター
あまり磨かず割ってできた跡も残し、原石を十分に生かし、アクセントとして金箔を貼ってあります。向かって左が羽をつけた男性で、右に女性を配し、前の石の上に手首を動くように取り付けてあります。
【平成3年設置・石】

133 記念撮影－夏・安茂里－　峯田 敏郎／作　安茂里総合市民センター
女性の隣には帽子がさりげなく置かれ、人が腰かけられる空間もあり、思わず一緒に記念撮影をしたくなります。作品全体が丸みを帯びてまわりの空気もなごみ、見る人の心も和らげ親近感を感じます。
【平成16年設置・ブロンズ】

信更

76 ARC OF NAGANO　松尾 光伸／作　信更町安庭
山並みとスキーで描くシュプールをイメージした作品です。「長野市の門」として設置されましたが、平成16年10月に台風による土砂崩れが発生し、数十メートル流されるという事態が生じました。
【平成元年設置・ステンレス】

85 とびたい・ガルダーのように　細井 良雄／作　信更支所
ヒマラヤ山中を自由に飛び回り火を食べて生きているという仏典の想像上の鳥、ガルダーのように自由に飛べたらという願望を込めた作品です。石の重厚な座像で、後ろの鳥はガルダーの化身でしょう。
【平成3年設置・石】

七二会

79 ドン・キホーテ・シリーズ　池田 宗弘／作　七二会コミュニティーセンター
ドン・キホーテ題材シリーズの一つで、真鍮の板を伸ばし溶接して磨いた作品です。ドン・キホーテが従者のサンチョを養うのに心を痛めているのに、サンチョは眠りこけているというユーモアのある一コマです。
【平成2年設置・真鍮】

浅川・若槻

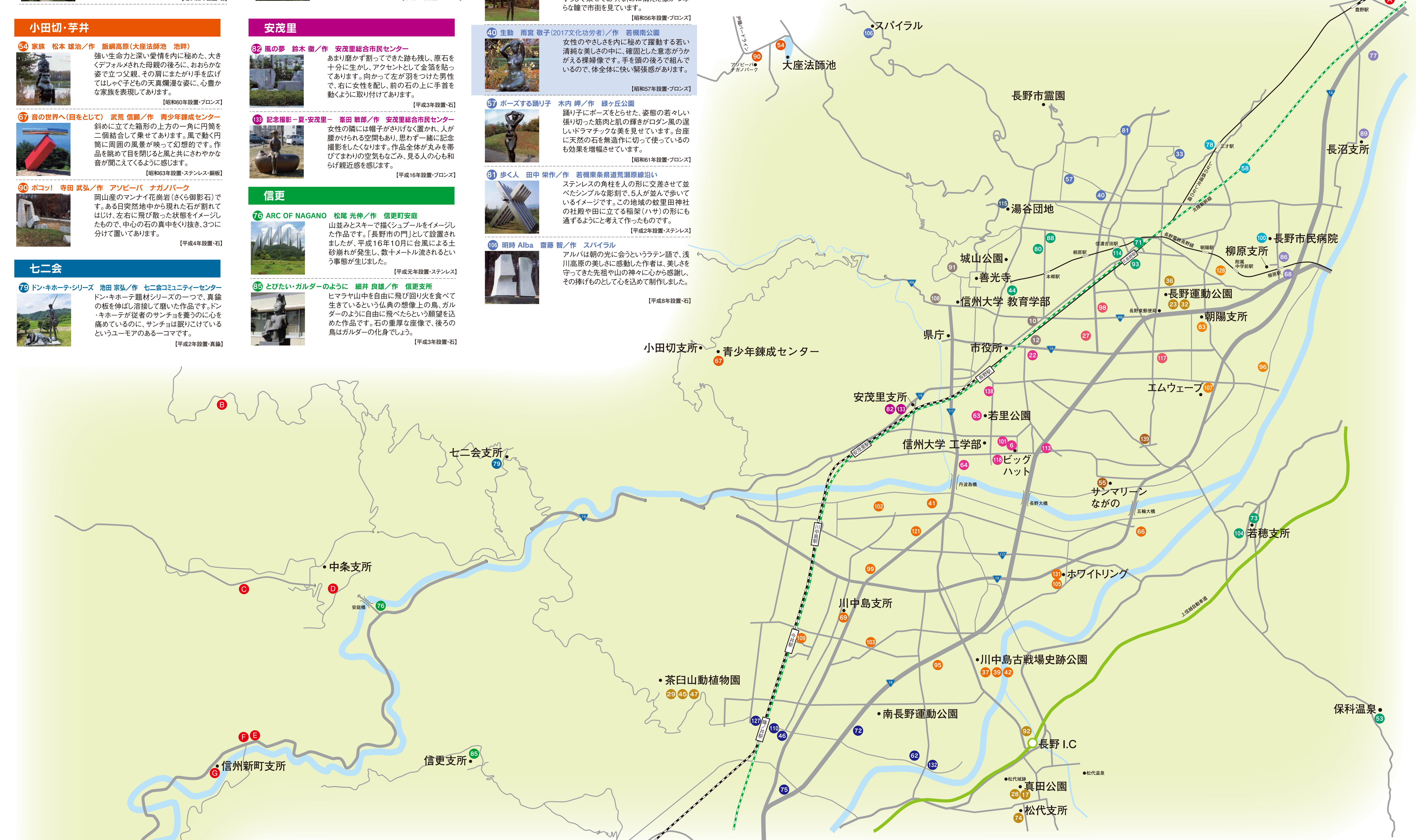
33 マントの女　伊東 傀／作　昭和の森公園
デフォルメしたモダンな若い女性像で約10頭身あります。長方形の敷台の東隅に立方形の石の台座を少し斜めに置き、像も少しずらして乗せてあり、斜めに構えた像がつぶらな瞳で市街を見ています。
【昭和56年設置・ブロンズ】

40 生動　雨宮 敬子(2017文化功労者)／作　若槻南公園
女性のやさしさを内に秘めて躍動する若い清純な美しさの中に、確固とした意志がうかがえる裸婦像です。手を頭の後ろで組んでいるので、体全体に快い緊張感があります。
【昭和57年設置・ブロンズ】

57 ポーズする踊り子　木内 岬／作　緑ヶ丘公園
踊り子にポーズをとらせた、姿態の若々しい張り切った筋肉と肌の輝きがロダン風の逞しいドラマチックな美を見せています。台座に天然の石を無造作に切って使っているのも効果を増幅させています。
【昭和61年設置・ブロンズ】

81 歩く人　田中 栄作／作　若槻東条県道荒瀬原線沿い
ステンレスの角柱を人の形に交差させて並べたシンプルな彫刻で、5人が並んで歩いているイメージです。この地域の蚊里田神社の社殿や田に立てる稲架(ハサ)の形にも通ずるようにと考えて作ったものです。
【平成2年設置・ステンレス】

106 明時 Alba　齋藤 智／作　スパイラル
アルバは朝の光に会うというラテン語で、浅川高原の美しさに感動した作者は、美しさを守ってきた先祖や山の神々に心から感謝し、その捧げものとして心を込めて制作しました。
【平成8年設置・石】



篠ノ井

46 長い午後　掛井 五郎／作　しののい公園
「お忙しいですか」が日常会話になっている日本に、のんびり休んでもらいたいとの願いが込められた作品です。体の力を抜いて石に座った姿に接すると自然に微笑ましくゆったりした気分になります。
【昭和59年設置・ブロンズ】

62 江戸三歌人　田中 毅／作　東福寺公園
江戸時代を代表する俳人、頂点に松尾芭蕉、左横に与謝蕪村、右横に小林一茶の像を配置してあります。年代や経歴、性格も違う三人が俳諧を語り合ったらどうかという作者の思いがあったのでしょう。
【昭和62年設置・石】

72 逆転の確率　安藤 泉／作　南部勤労者活躍支援センター
調教師が一転してライオンに襲われることも考えられます。立場の逆転はどこの世界にもあり、油断大敵という言葉のように優位のものがいつまでも優位とは限らないという教訓を表現した彫刻です。
【平成元年設置・銅】

75 豊饒の郷　向井 良吉／作　篠ノ井横田
ふるさと創生事業で設置した「長野市の門」で、これは南部の入り口にあります。実って熟した果物が割れて実を落とし再び芽を出し、いつまでも実り豊かな郷であるという長野を象徴しています。
【平成元年設置・ステンレス・真鍮】

110 輪の仕掛／ビクトワール オランジェ　生形 貴春／作　篠ノ井駅東口駅前広場
御影石の上に大きな輪を、その上にL字形の三角柱を乗せています。今にも転がりそうに見え、そこに新しい美が生まれるという発想の作品です。傾いているのは緊張感の時空間を演出するためです。
【平成9年設置・ステンレス】

127 詩・燦　栄 利秋／作　篠ノ井駅西口
「この彫刻と出会う人や地域の発展に限りないエネルギーを与えたい」と作者。太陽の光を受けたエネルギーを感じます。「詩シリーズ」の11年前の未完作品に新たな思いを込めて命を吹き込みました。
【平成14年設置・ブロンズ】

132 柱上の舞　後藤 良二／作　第2学校給食センター
60°に傾いた柱上で6人の女性が演舞しています。ひと捻り半させたメビウスの輪を三組構成して、混沌と秩序、有機と無機などといった相対立するものを一体化するよう表現・造形されています。
【平成16年設置・ステンレス他】

川中島・更北

41 From 90° to 90°「T」　松本 薫／作　青波公園
ステンレスの円柱の上に取り付けた90°の角度を見せていた形がモーターでゆっくりと動くと別の形となり90°を表現し、やがてTの形を作り出します。ふと見上げると別の形になっています。
【昭和57年設置・ステンレス】

66 アルウィン・ニコライの陽(眩驚)　土田 隆生／作　長野卸売市場
薄暗い舞台で演じるロシアの演劇家アルウィン・ニコライが、太陽が輝く外に出れば目がくらんでこのような驚きの姿をするだろう、というものです。台に人が腰掛けて人物を見上げることにより作品が完成します。
【昭和63年設置・アルミニウム・石】

69 夜明け　岡田 憲一／作　川中島支所
明けの明星を仰ぎ、すがすがしい空気を吸って気持ち良く一日を出発するため希望を抱き、太陽を迎えようとしている若い女性の姿です。白御影石の群像で、同じような形ですが、少しずつ変えてあります。
【昭和63年設置・石】

95 残像　竹屋 修／作　神明広田西公園
土岐市産出の陶土の彫像です。陶土で作った像を100ピースにわけ、1280℃の高熱で焼き、10%縮まったものをつなぎ合わせて不足した部分は補いました。細い部分は壊れないよう針金を入れてあります。
【平成5年設置・セラミック】

99 楽園の囁き　アキホ タタ／作　氷鉋老人福祉センター
昔話や伝説に出てくる心のやさしい夫婦にあこがれて、その心情が風に乗って美しい囁きに聞こえるという心象を表したものです。古代人が石に絵を描いて残してきたのにヒントを得て、所々に彩色しています。
【平成6年設置・石】

102 海の記憶　下川 昭宣／作　三本柳中央公園
信州人が海に憧れていることを知り、この広々とした芝生の公園を海に見立て、アフリカ産の黒御影石で制作したマナティーです。1頭1トンの彫刻が緑の海原に悠々と泳いでいるように見えてきます。
【平成7年設置・石】

103 浮くかたち－赤・軸　植松 奎二／作　御厨公園
重力をなんとかして感じないような作品を制作したいと考えて作られた彫刻です。ステンレスの白い柱の上に置いた赤く塗った物体が目の錯覚で周囲の緑や空をバックに浮いているように見えます。
【平成7年設置・ブロンズ】

105 Swing Swing　渡辺 豊重／作　ホワイトリング
ステンレスの台に鉄板をはめ込んであり、ホワイトリングを背景に右はこれから競技に参加する選手を、左は応援する人たちを表しています。抽象的な形ですが原色的な色彩が力強さを表しています。
【平成8年設置・ステンレス】

109 連山夢想－長野　眞板 雅文／作　今井ニュータウン
約6mと2.5mの鉄柱には生命力を、それを支えて連なる山を表す石には大地の滋養を送り続ける、自然界のサイクルを表現した作品です。鉄に緊張感を持たせるため石には細かい線をつけてあります。
【平成9年設置・コールテン鋼・石】

121 きら星とカルナバル　中野 滋／作　稲里中央公園
造成されて28年何の変哲もなかった公園に、メリーゴーランドをイメージしたような彫刻を設置したことで、新鮮な息吹が広がりました。ロボットは夜になると植栽の手入れをするという楽しい発想の作品です。
【平成12年設置・ブロンズ】

131 記憶の中の風景　齋藤 史門／作　ホワイトリング
鉄板をキャンバスに見立てて絵を描くように様々な形をくり抜いた二つの造形物がバランスよく設置され、溶接でコの字型に組み立てられています。中から周囲を見渡すと違った景色が広がります。
【平成16年設置・コールテン鋼】

No.	作品名	作者	設置場所
1	作品1972	土谷 武	城山公園(長野県立美術館東)
2	托鉢	矢崎 虎夫	霊園(道路)
3	道標	柳原 義達	南千歳町公園
4	母と子	加藤 昭男	霊園
5	水浴	高田 博厚	ひまわり公園
6	雪の肌	流 政之	ビッグハット
7	ある小さな祠のために	保田 春彦	城山公園(長野県立美術館東)
8	まわる曲線のリング	伊藤 隆道	長野市芸術館南側
9	風景の領域	小田 襄	霊園
10	二歳	佐藤 忠良	柳町公園
11	咬み合う立方体	堀内 正和	城山公園(長野県立美術館東)
12	津舞	一色 邦彦	守田公園
13	時の流れ	木村 賢太郎	霊園(道路)
14	笛吹き少年	舟越 保武	城山公園(動物園)
15	アニマル	向井 良吉	城山公園(長野県立美術館東)
16	あるポーズ	桜井 祐一	城山公園(噴水東)
17	少女	佐藤 忠良	真田公園
18	夜の詩	山本 常一	霊園(道路)
19	追憶	山本 正道	城山公民館
20	マスク	清水 九兵衛	霊園(道路)
21	半円柱 II	豊福 知徳	城山公園(噴水東)
22	花持つ少女	舟越 保武	長野信用金庫本店前広場
23	円盤投げ	ミュロン	長野運動公園(陸上競技場西)
24	ローマの公園	淀井 敏夫	南長野運動公園
25	憩う	朝倉 響子	城山公園(ふれあい広場東)
26	やまびこ	澄川 喜一	霊園(道路)
27	ハート・モビール	田中 信太郎	三重公園
28	屈む女	安田 周三郎	真田公園
29	風よ	井上 玲子	茶臼山自然植物園
30	漂流と原形	江口 週	霊園(道路)
31	遙かなリズム	新宮 晋	城山公園(ふれあい広場東)
32	腰かける	柳原 義達	長野運動公園(芝生広場)
33	マントの女	伊東 傀	昭和の森公園
34	若い女	岩野 勇三	城山公園(長野県立美術館西)
35	ウインドダンサー	関 正司	長野大通り
36	花	千野 茂	長野運動公園
37	若きカフカス人	中原 悌二郎	川中島古戦場史跡公園(博物館前)
38	転生	菊池 一雄	城山公園(長野県立美術館東)
39	CLOUD 17 (暈)	建畠 覚造	川中島古戦場史跡公園(博物館南)
40	生動	雨宮 敬子	若槻南公園
41	From 90° to 90°「T」	松本 薫	青波公園
42	演技者	吉田 芳夫	川中島古戦場史跡公園(博物館前庭)
43	オルメカの微笑	高橋 清	城山公園(噴水広場西入口)
44	蝶幻想	城田 孝一郎	長野大通り
45	柱にもたれてアルトを吹けば…	黒川 晃彦	茶臼山動物園(ピクニック広場)
46	長い午後	掛井 五郎	しののい公園
47	紙の塔	山縣 壽夫	茶臼山動物園
48	丸三角四角	岩城 信嘉	霊園(さくら苑)
49	ランラララチンチンオトコノコ	最上 壽之	長野大通り
50	小話	高田 大	長野大通り
51	ピクニック	渡辺 豊重	ながのこども館(ながノビ!)
52	瑞象	橋本 正司	市立長野図書館
53	少年	瀬戸 剛	保科温泉前広場
54	家族	松本 雄治	飯綱高原(大座法師池 池畔)
55	こども	堀口 泰造	サンマリーンながの
56	しなのの木	空 充秋	長野大通り
57	ポーズする踊り子	木内 岬	緑ヶ丘公園
58	風景の外側	重村 三雄	古里公園
59	波と貝から与えられたフォルム	高橋 清	信濃毎日新聞社前
60	明日へ	峯田 義郎	長野市役所第二庁舎前
61	若い女	高野 佳昌	県庁前広場
62	江戸三歌人	田中 毅	東福寺公園
63	STONE WORK－双	湯村 光	若里公園
64	門	速水 史朗	丹波島橋北側
65	雲のロンド	中垣 克久	長野市役所第一庁舎前
66	アルウィン・ニコライの陽(眩驚)	土田 隆生	長野卸売市場
67	音の世界へ(目をとじて)	武荒 信顕	青少年錬成センター
68	E－の音 大きい太陽、小さい太陽	八ッ木 のぶ	柳原中央公園
69	夜明け	岡田 憲一	川中島支所
70	春	日高 頼子	JA長野県ビルアクティーホール
71	北の母子	二口 金一	辰巳公園
72	逆転の確率	安藤 泉	南部勤労者活躍支援センター
73	耀風	大成 浩	若穂支所前
74	歴史の彼方へ	竹内 不忘	松代支所前
75	豊饒の郷	向井 良吉	篠ノ井横田
76	ARC OF NAGANO	松尾 光伸	信更町安庭
77	長野の門	黒川 晃彦	長沼赤沼
78	明るい眸(まなざし)	桑原 巨守	三才駅前広場
79	ドン・キホーテ・シリーズ	池田 宗弘	七二会コミュニティーセンター
80	翼のある塔	戸谷 成雄	美和公園
81	歩く人	田中 栄作	若槻東条県道荒瀬原線沿い
82	風の夢	鈴木 徹	安茂里総合市民センター
83	羽化－飛翔	有賀 敬子	朝陽支所
84	セレナード	中岡 慎太郎	ターミナル南通り
85	とびたい・ガルダーのように	細井 良雄	信更支所
86	風	番浦 有爾	中麻奈の里公園
87	風	広井 力	長野県労働金庫
88	憩う時	綿引 道郎	市営宇木団地
89	太陽の子	井上 なぎさ	長沼支所
90	ボコッ!	寺田 武弘	アソビーバ　ナガノパーク
91	デュエット	鹿田 淳史	往生地公園
92	トキメキ　フレアイナガノ　ユメ	最上 壽之	上信越自動車道長野インター
93	月を盗む	藤原 吉志子	北長野駅横断地下道南側広場
94	風のフォルム・TWICE	河崎 良行	南長野運動公園
95	残像	竹屋 修	神明広田西公園
96	地表より－聖獣伝	井上 妻	千曲川リバーフロント
97	タクト	圓鍔 勝三	勤労者女性会館しなのき
98	交差する形94－1	内田 晴之	和田公園
99	楽園の囁き	アキホ タタ	氷鉋老人福祉センター
100	"TAMAGETA" 1OOBAN	流 政之	長野市民病院
101	地象	齊藤 顯治	市道芹田小伊勢宮線
102	海の記憶	下川 昭宣	三本柳中央公園
103	浮くかたち－赤・軸	植松 奎二	御厨公園
104	花の舞い'96－II	橋本 裕臣	牛島輪中公園
105	Swing Swing	渡辺 豊重	ホワイトリング
106	明時　Alba	齋藤 智	スパイラル
107	Velocity	多田 美波	エムウェーブ
108	地殻－120個・NAGANO	岡本 敦生	長野県自治会館
109	連山夢想－長野	眞板 雅文	今井ニュータウン
110	輪の仕掛／ビクトワール オランジェ	生形 貴春	篠ノ井駅東口駅前広場
111	太陽の贈りもの	新宮 晋	南長野運動公園
112	こだま'97	山本 正道	南長野運動公園
113	女の子	笹戸 千津子	母袋地区東通りポケットパーク
114	重力質－Floating Rain'98	曽我 孝司	長野電鉄信濃吉田駅前ロータリー
115	臯月夜	手塚 登久夫	湯谷団地遊園地
116	金属と樹液の距離	津久井 利彰	れすぽ　ちとせ(南千歳)
117	月の庭－山の辺－	深井 隆	西尾張部尾張城跡公園
118	風船を持つ少女	高嶋 文彦	長野市保健所
119	岩を動かした風	門脇 おさむ	南長野運動公園
120	連	澤田 美保	南長野運動公園
121	きら星とカルナバル	中野 滋	稲里中央公園
122	うつろひ	宮脇 愛子	南長野運動公園
123	UNTITLED 02-A	前田 哲明	南長野運動公園
124	つなぎ石　作品-38	山根 耕	南長野運動公園
125	気流	西野 康造	長野駅東口
126	風を孕む	丸山 映	南長野運動公園
127	詩・燦	栄 利秋	篠ノ井駅西口
128	Casting－無題－	西 雅秋	南堀公園
129	時空・138－旅人－	石井 厚生	南長野運動公園
130	稲妻<LAMPO>	長澤 英俊	南長野運動公園
131	記憶の中の風景	齋藤 史門	ホワイトリング
132	柱上の舞	後藤 良二	第2学校給食センター
133	記念撮影－夏・安茂里－	峯田 敏郎	安茂里総合市民センター
134	A・UN	速水 史朗	TOiGO広場
135	オウシ・ゾウケイ2007	牛尾 啓三	城山公園(ふれあい広場)
136	ANIMAL2008	三沢 厚彦	城山公園(ふれあい広場東)
137	時間塊7	原 透	上千歳広場
138	対話　COLLOQUIO	吾妻 兼治郎	栗田北中
139	Gravitation	大井 秀規	大豆島公園
140	工事現場	村中 保彦	長野大通り
141	希望	村中 保彦	長野大通り
142	長野の月	西川 勝人	長野大通り
143	存在-関係	丸山 雅秋	長野大通り
144	月に向って進め	井田 勝己	長野大通り
145	木霊	田村 史郎	長野大通り
146	大きいズボン・冬	田村 史郎	南千歳町公園
147	蒼い山	北郷 悟	長野大通り
148	陽風　No.3	大成 浩	権堂イーストプラザ
149	時・空・音	金 景暋	長野大通り
A	りんごのモニュメント		ゆたかの公園
B	大姥様像		虫倉山道しるべ
C	石のモニュメント		道の駅中条
D	しあわせの鐘		中条しあわせの鐘遊園地
E	めん羊の像	中嶋 大道	新町奈津女遊園地
F	「雉子も鳴かずば」の像	宮尾 応栄	新町奈津女遊園地
G	躍動	中嶋 大道	信州新町支所
H	母	宮尾 応栄	信州新町ふれあい公園
I	浜辺にて	宮尾 応栄	信州新町ふれあい公園
J	不動明王像		さぎり荘
K	鹿		さぎり荘
L	やまなみ	峯田 義郎	大岡支所